

医学部6年

学生

×

医師

当院は地域のみなさまに医療を提供すると同時に、次世代の医療人を育成する責務として、医学生やそのほかの医療系学生の実習の受け入れを行っています。ご利用中のみなさまには診療の見学など臨床実習へのご理解ご協力をいただき感謝しております。当院で実習を終了した学生さんの感想をご覧ください。

## 西宮回生病院を選んだ理由

小学6年生のときにスポーツで右膝を痛め、近所の病院では原因が分からず、兵庫医科大学病院の吉矢先生の外来を受診したことがきっかけです。

小学生だった私にも分かりやすい言葉使いと優しい表情で説明と手術を担当していただき、吉矢先生に憧れを抱いて医学部に入り整形外科を目指しています。今なお医学を学ぶ上での原動力となっています。

## 整形外科医を体験して

大学入学当初から現在まで、整形外科医、特に「膝関節外科医になりたい」という思いが揺らいだことはありません。大学での勉強で、整形外科の領域を勉強する時間が1番楽しいです。

今後もこの目標が変わることはないと思います。

吉矢先生の外来以外にも手術見学やリハビリを見学させていただき、整形外科の知識がより深まりました。臨床研修は整形外科以外の診療科のことも研鑽するため他病院の希望予定ですが、今後も実習で学んだことを活かし、立派な医師になれるよう励んでいきたいと思っています。1週間ありがとうございました。

## 診察を見学して

先生が患者さんからとても信頼されていると感じ、普段から患者さんに優しく接されているんだらうなと思いました。自分が患者としてお世話になった外来を、先生と同じ側から見ることができたのは、滅多にない機会で、とても貴重な経験となりました。



大阪大学医学生

顧問  
吉矢晋一

## 学生を受け入れて

私が主治医で子どもや学生のために手術などの治療を担当した人が当時の出来事がモチベーションになって医学部に行き、整形外科医師になった人が、私の知っている限り4人います。

今でもそれらの先生とは付き合いがあり、いずれも関節外科医となって、どの先生も思い入れのある後輩です。同様のモチベーションで理学療法士になられた人も何人かいます。

整形外科医に関心を持ち、目指している学生を受け入れるにあたり、こちらが特別なアドバイスなどを特に意識せず、普段通りの仕事をしています。そのなかで、自分の仕事ぶりのありのままを見てもらって何か感じるものがあれば、と思います。

今後もこのような希望があれば、よろこんでお受けしたいと思います。ご協力いただきました患者様とそのご家族の方々に感謝申し上げます。